国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

プレスリリース

平成２８年１２月２日
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

企画展「花粉と花粉症の科学」

開催ならびにプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林　良博）では、このたび下記のとおり、**企画展「花粉と花粉症の科学」**を開催いたしますので、お知らせいたします。
また、本企画展のオープンに先立ち **12 月 22 日（木）に、別添のとおりプレス内覧会を実施いたします**ので、ご案内申し上げます。

国立科学博物館は、12 月 23 日(金・祝)から平成 29 年 3 月 20 日(月・祝)の期間で、企画展「花粉と花粉症の科学」を開催いたします。
花粉といえば「花粉症」を思い起こす方も多いでしょう。自然界では、花粉には受粉によって種子を生産し子孫を残すという役割があり、陸上植物の進化の過程で誕生しました。植物にとっての花粉とは何か、その形態や機能、送粉様式などを紹介します。
送粉様式のうちのひとつ、受粉に風を利用する風媒花こそが、いまや国民病ともいわれる花粉症を引き起こす主な原因です。「花粉と人類」という視点から、食用や薬用などの人類による花粉の利用から花粉症の原因となる植物、その発症メカニズムと防御について、最先端の研究内容を農学、医学、工学の各分野から紹介します。

つきましては、展示のオープンに先立ち、**12 月 22 日（木）14 時～15 時 30 分の間、プレス内覧会**を実施いたしますので、取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

【会　　場】国立科学博物館（台東区上野公園 7-20）日本館 1 階 企画展示室
【開催期間】平成 28 年 12 月 23 日(金・祝)～平成 29 年 3 月 20 日(月・祝)
【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。
（一般・大学生：620 円（団体 310 円）、高校生以下および 65 歳以上無料※団体は 20 名以上）
【休 館 日】毎週月曜日、12 月 28 日（水）～1 月 1 日（日・祝）、1 月 10 日（火）
（ただし、12 月 26 日（月）、1 月 2 日（月・休）、1 月 9 日（月・祝）、2 月 13 日（月）、3 月 20 日（月・祝）は開館）
【主　　催】国立科学博物館、花粉問題対策事業者協議会
【後　　援】文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省
【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：南部
〒110-8718　東京都台東区上野公園 7-20　(TEL)03-5814-9883 (FAX)03-5814-9898

報道関係各位

平 成 28 年 12 月 2 日
独立行政法人国立科学博物館

企画展「花粉と花粉症の科学」
プレス内覧会のお知らせ
平成２８年１２月２２日（木）１４時～／上野・国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「花粉と花粉症の科学」の開催に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、**担当研究者等による展示解説も行います**ので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

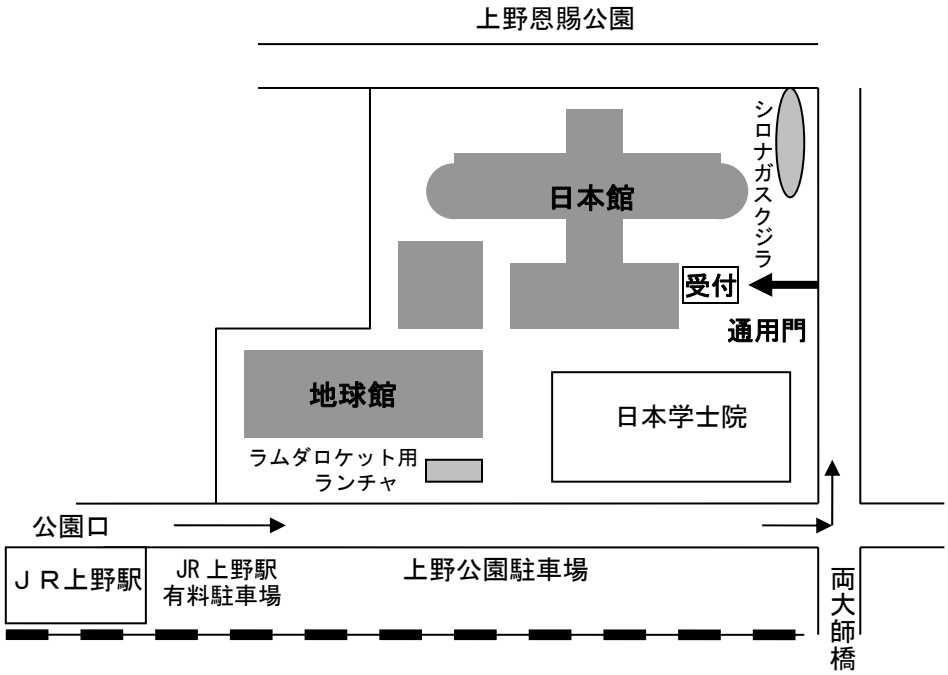
記

【日　　時】　平成 28 年 12 月 22 日（木）14 時～15 時 30 分（受付開始 13 時 30 分～）

【会　　場】　国立科学博物館　（東京都台東区上野公園 7-20）

【受 付 場 所】　国立科学博物館　事務棟入口　※通用門からお入りください。

〈交通のご案内〉　ＪＲ上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分　※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

13 時 30 分～　　受付開始（受付場所：事務棟入口　※通用門からお入りください）

14 時～15 時 30 分　　展覧会内覧（会場：日本館 1 階企画展示室）
・担当研究者等が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。
・展示室内の撮影が可能です。

担当研究者のプロフィール

国立科学博物館 植物研究部 陸上植物研究グループ　研究主幹
田中　伸幸（たなか　のぶゆき）

専門分野は種子植物の系統分類・地理学的研究。特に、東南アジア大陸部におけるフロラ（植物誌）研究およびカンナ科やショウガ科など大型の単子葉類の分類学的研究をおこなっています。 また、資源植物の観点から有用植物学的な研究も行っています。

【 参 加 申 込 用 紙 】

申込先：国立科学博物館企画展担当

＜ FAX 番号 ０３－５８１４－９８９８＞

企画展「花粉と花粉症の科学」

関係者・プレス内覧会　参加票

平成 28 年 12 月 22 日（木）14 時～　　※受付：13 時 30 分～

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、１２月２０日（火）までにＦＡＸにてご送信いただければ幸いです。
お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

□ご出席

貴社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

貴メディア・所属部署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご芳名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先

住所：〒　　－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL：＿＿＿＿＿＿＿＿　FAX：＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

備考＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

企画展

花粉と花粉症の科学

展示概要

花粉といえば「花粉症」を思い起こす方も多いでしょう。自然界では、花粉には受粉によって種子を生産し子孫を残すという役割があります。
植物にとっての花粉とは何か、その形態や機能、繁殖の戦略などを紹介します。
また、「花粉と人類」という視点から、食用や薬用などの花粉の利用用途、花粉症の原因となる植物や発症メカニズムとその防御について、最先端の研究内容を農学、医学、工学の各分野から紹介します。

1 花粉の誕生

～植物にとっての花粉～

ここでは植物の進化と花粉の誕生について紹介します。花の形は、花粉を運んでもらう様式と関係があります。また、花粉の形も実にさまざまです。模型や電子顕微鏡などで見てみましょう。

2 花粉は語る

～花粉から何がわかるのか？～

堆積物に埋没して保存された花粉化石を調べることによって、過去の植生や環境を知ることができます。花粉分析によって、古植生や気候変動などを推定する研究を紹介し、花粉分析に用いられる独特の研究用具やその手法を紹介します。

3 花粉と人類

～花粉のもつ２つの顔～

人間の蜂蜜としての花粉の食歴は紀元前に遡り、生薬やサプリメントにも用いられ、人間にとって花粉は薬や栄養源にもなります。一方で、花粉が引き起こす花粉症は人間を苦しめています。
花粉症の原因と歴史、花粉症研究の歴史とともに、世界で花粉症を引き起こす植物を紹介します。

4 花粉症の対策

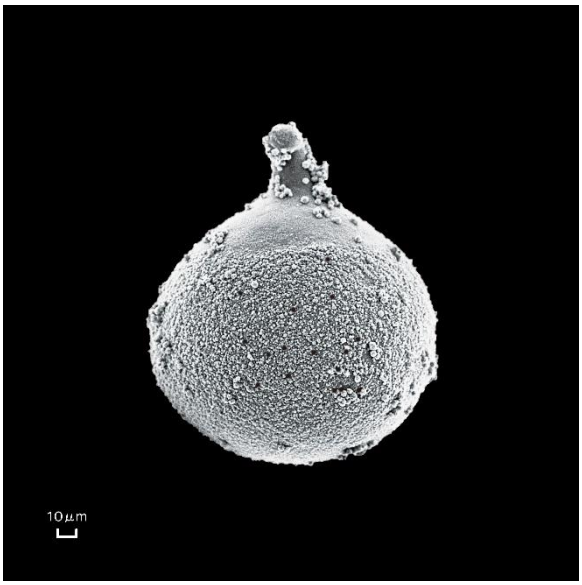
～花粉生成・飛散から予防・治療の最前線まで～

花粉の影響段階ごとに「生成」「飛散」「曝露」「発症」の４つに分けて紹介します。
無花粉スギや花粉生成・飛散の予測に関する研究、花粉が付着しにくい衣服やマスク・メガネ・空気清浄機などの開発がなされています。
花粉症の予防や治療など、最新の医療分野での研究も紹介します。

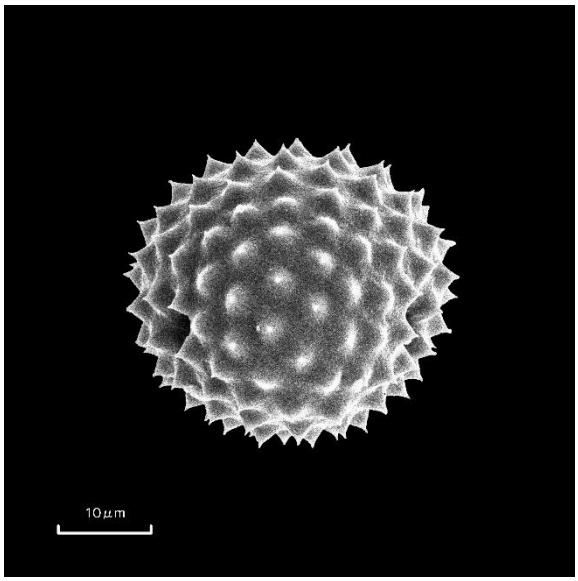
広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。
国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。
（http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html）

チラシ画像
（企画展「花粉と花粉症の科学」）
画像提供：国立科学博物館



スギ花粉電子顕微鏡画像
画像提供：国立科学博物館



ブタクサ花粉電子顕微鏡画像
画像提供：国立科学博物館

【記事利用の際のお願い】

＊写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
＊写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
＊展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。（記事内容をチェックするものではありません。）
＊ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈広報に関するお問い合わせ先〉国立科学博物館 事業推進部 広報戦略担当
電話 03-5814-9855　FAX 03-5814-9899
E-mail： shuzai@kahaku.go.jp
〒110-8718　東京都台東区上野公園7－20

企画展

花粉と花粉症の科学

Science of pollen and pollinosis

2016年
12/23（金・祝）
2017年
▶ 3/20（月・祝）

国立科学博物館（東京・上野公園）
日本館１階 企画展示室

【開館時間】 午前９時～午後５時（金・土曜日は午後８時まで） ＊入館は各閉館時刻の 30 分前まで

【休館日】 毎週月曜日、12 月 28 日（水）～1 月 1 日（日・祝）、1 月 10 日（火）
ただし、12 月 26 日（月）、1 月 2 日（月・休）、1 月 9 日（月・祝）、2 月 13 日（月）、3 月 20 日（月・祝）は開館

【入館料】 一般・大学生 620 円（団体 310 円） 高校生以下および 65 歳以上は無料 ＊団体は 20 名以上

【主催】 国立科学博物館、花粉問題対策事業者協議会

【後援】 文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省

国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

花粉問題対策事業者協議会
Japan Anti-pollinosis Council

花粉といえば「花粉症」を思い起こす方も多いでしょう。自然界では、花粉には受粉によって種子を生産し子孫を残すという役割があり、陸上植物の進化の過程で誕生しました。植物にとっての花粉とは何か、その形態や機能、送粉様式などを紹介します。

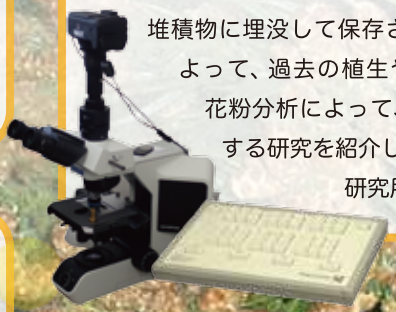
送粉様式のうちのひとつ、受粉に風を利用する風媒花こそが、いまや国民病ともいわれる花粉症を引き起こす主な原因です。「花粉と人類」という視点から、食用や薬用などの人間による花粉の利用から花粉症の原因となる植物、その発症メカニズムと防御について、最先端の研究内容を農学、医学、工学の各分野から紹介します。

花粉の誕生から花粉症まで４つのゾーンで紹介！

① 花粉の誕生
～植物にとっての花粉～

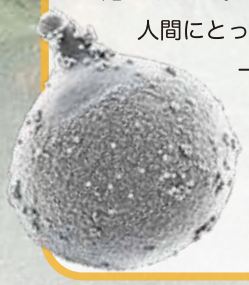
１章では、植物の進化と花粉の誕生について紹介します。花の形は、花粉を運んでもらう様式と関係があります。また、花粉の形も実にさまざまです。模型や電子顕微鏡写真などで見てみましょう。

② 花粉は語る
～花粉から何がわかるのか？～



堆積物に埋没して保存された花粉化石を調べることによって、過去の植生や環境を知ることができます。花粉分析によって、古植生や気候変動などを推定する研究を紹介し、花粉分析に用いられる独特の研究用具やその手法を紹介します。

③ 花粉と人類
～花粉のもつ２つの顔～



この章では、人間と花粉の関わりについて考えます。私たち人間の花粉の食歴は、紀元前、花粉を含む蜂蜜を食べたことに始まります。生薬や最近のサプリメントにも用いられ、人間にとって花粉は薬や栄養源にもなります。しかし、一方で昨今、花粉は人間を苦しめる原因にもなっています。花粉症です。花粉症の原因と歴史、花粉症研究の歴史とともに、世界で花粉症を引き起こす植物とその花粉を標本と電子顕微鏡写真などで紹介します。

④ 花粉症の対策
～花粉生成・飛散から予防・治療の最前線まで～

花粉の影響段階ごとに「生成」「飛散」「曝露」「発症」の４つに分けて紹介します。無花粉スギや花粉生成・飛散の予測に関する研究、身近なところでは花粉が付着しにくい衣服やマスク・メガネ・空気清浄機などの開発があります。さらに、花粉症の予防や治療など、最新の医療分野での研究も紹介します。

【関連講演会】

「やさしく説明：JAPOCカンファレンス／上野KAHAKU-2017」

【会場】日本館２階講堂　【時間】13:00 - 15:00　【定員】100名

◆ **第１回　１月22日（日）**
「花粉症対策の展示内容を JAPOC が詳しく語る ～花粉対策の考え方～」

◆ **第２回　１月28日（土）**
「花粉飛散防止に向けた取組 ～スギ花粉発生源対策～」

◆ **第３回　２月５日（日）**
「花粉症の治療､ここに注目､ここが重要 !!」
NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会提供 第４回花粉症・市民講座

◆ **第４回　２月25日（土）**
「花粉症対策のこれまでを聴き、その未来を探る」

※演題は変更する場合があります。申込方法等詳細はホームページをご覧ください。

【交通ガイド】

◆ **JR**
「上野駅」公園口から徒歩５分

◆ **東京メトロ 銀座線・日比谷線**
「上野駅」から徒歩10分

◆ **京成電鉄**
「京成上野駅」から徒歩10分

※駐車場はありませんので、
お車での来館はご遠慮ください。

〒110-8718　東京都台東区上野公園 7-20
TEL：03-5777-8600（ハローダイヤル）
http://www.kahaku.go.jp/
国立科学博物館
National Museum of Nature and Science